

今年度 何でもBOXでいただいたご意見・ご要望に対して園だよりなどで対応をさせていただきました。

降園時の隣の公園利用について

◎近隣の方より、夕方の時間のカバ公園の使い方について指摘を受ける。
内容は、「あまりにもうるさくて一度、注意をしたことがあるが、そのときも親御さんからいい顔をされなかった。何とかしてほしい」とのこと。



(インフォメーションコーナー・P I P I O部分に掲示)

- ・住宅地にある公園のため、近隣の方の迷惑になるような行為は子どもたちにもきちんと伝えてほしいこと、再度、公園の使い方を確認すること(公園から飛び出さないこと、必要以上に大きな声をださないこと等)を保護者に呼びかける。
緊急を要したため園だよりではなく、インフォメーションコーナーに掲示する。

食材について

◎給食で出ている福島の桃や、三陸のわかめ、魚介類、宮城の米など 食材の産地について見直してほしい。



(園だよりで回答)

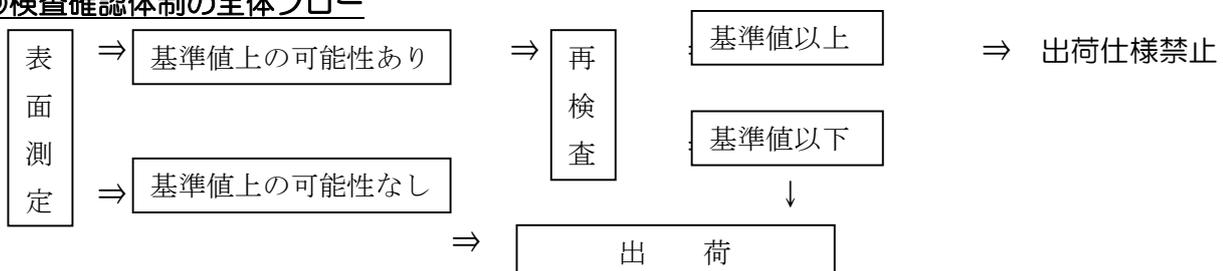
・基準値について

平成24年4月より許容している基準値を年間線量5ミリシーベルトから年間1ミリシーベルトに引き下げて対応している。

・食材調達における考え方

- ・放射能の影響に限らず、従来通り、安全・安心な食材の調達
- ・健康被害への影響に関しては不明な点が多く、常に動向に注視しながら迅速に対応
- ・新基準値だけにとらわれることなく、より健康への影響のない食材を選定するために、検査確認体制の構築
- ・検査確認体制の精度を高め、風評被害を助長しない食材調達と情報開示

◎検査確認体制の全体フロー



・検査器具について

環境放射線モニター（シンチレーション式）

NaIシンチレーションスペクトロカウンタ

・今後について

ワタミとの信頼関係の元、食材の発注・調理を委託している。今回のように汚染水の問題が出た場合など、園側とワタミとでお互いに声をかけていきながら、食材の安全性を再確認し、状況に合わせて対応していく。

食材について

◎給食の食材地について

乳幼児の摂取については心配になる産地がいくつか見られる。

ワタミさんと協議していただけないか？



（園だよりで回答）

・今回のことをふまえ再度ワタミと話をする。

あえて特定の産地のものを使うというわけではなく、食材到達の際に5県（福島・茨城・群馬・栃木・千葉）の産地のものを使用する場合には、さらに自主検査をし、安全性を確認したうえで使用していく。

今後もワタミと園と連携を図りすすめていく。